

協会だより

第40号

発行日：2016年 7月15日
発行人：会長 大熊 幸雄
連絡先
〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町 11-1 3階9F
さいたま市市民活動サポートセンター
電話 050-3610-1948
e-mail：sai-eca@soleil.ocn.ne.jp
ホームページ：[http://www. saieca.com/](http://www.saieca.com/)

No.40 本号のラインアップ

会長挨拶	1
平成28年度埼玉環境カウンセラー協会 通常総会の開催概要	2
来賓あいさつ；埼玉県環境部環境政策課長 牧 千瑞 様	3
くまがやエコライフフェア2016に参加、	4
環境研修 開催結果の概要	5
「家にある化学物質の使い方」第6号 消臭剤	6
第16回さいたま市環境フォーラムの開催について	7
協会会員 活動報告、編集後記	8

◇ 会長あいさつ

大熊 幸雄

7月に入り、皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

4月に発生した熊本地震では、想定を超えて震度7が2回もあり、多くの被害をもたらしました。亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

熊本には、九州一円の環境カウンセラーを結集して設立された九州環境カウンセラー協会の事務局があります。この協会のホームページを拝見したところ、5月に最新の更新が掲載されておりますが、地震については、特に記述はありませんでした。しかし、現地の事態が、大変であることは容易に拝察されます。

梅雨時の大雨で更に被害が拡大しないように、被災地の早い復興をお祈りしております。

さて、当協会の総会は5月28日にさいたま共済会館で開催され、全ての議案は原案どおり承認、議決されました。総会終了後には、地球環境パートナーシッププラザ 環境パートナーシップオフィス 関東EPO担当の島田幸子様から「ESDの推進について」と題してご講演をいただきました。ご協力をいただきました皆さんにこころから感謝申し上げます。

総会終了後に提出が義務づけられている法人市民税・県民税の減免措置に係る資料、特定非営利活動法人の認証を受けたさいたま市市民協働推進課への報告等を終えました。今後、理事会を開いて、環境保全講習会、環境研修などについて詰めて行きたいと思っております。

総会の時期と重なりましたが、5月にはくまがやエコライフフェア2016が開催され、10月にはさいたま市環境フォーラムが予定されています。当協会ではブースを設け、これらのイベントに参画しておりますが、環境意識の高揚や協会のPRを図るため、お客様の注目を引く工夫が必要と思っております。従来から行っているパネル展示、リーフレットの配布、省エネ実験等に加えて、私も何か新しいものを開発したいと考えています。アイデアがありましたら、メールでお知らせください。

本年度も、よろしく、お願いいたします。

◇ 平成28年度埼玉環境カウンセラー協会 通常総会の開催概要

特定非営利活動法人埼玉環境カウンセラー協会の通常総会は、平成28年5月28日(土)14:00~15:45、さいたま共済会館504会議室で開催されました。概要は、次のとおりです。

1 開 会 (司会) 星野弘志副会長

2 挨拶 大熊幸雄会長

3 来賓挨拶

埼玉県環境部環境政策課長 牧 千瑞 様

あいさつ文は、3ページに掲載

4 議 事

以下の第1~4号議案は、全て承認、議決された。

(1) 第1号議案 平成27年度事業報告(中村事務局長説明)

(2) 第2号議案 平成27年度活動計算書(片倉会計)及び監査報告(宮崎監事)

(3) 第3号議案 平成28年度事業計画書案(中村事務局長説明)

(4) 第4号議案 平成28年度活動予算書案(片倉会計)

5 各委員会活動等からの報告

(1) 化学物質検討委員会(中村副会長)

(2) 環境教育推進委員会(金子理事)

(3) 広報委員会(中村副会長、大熊会長)

(4) ECU活動(大熊会長)

(5) その他

6 主な意見

(1) 埼玉環境カウンセラー協会の活動として、省エネ診断、指導にもちからを入れて欲しい。

(2) ECU活動の報告について、予算書案の議決の前に説明して欲しかった。

総会終了後には、地球環境パートナーシッププラザ 環境パートナーシップオフィス 関東EPO担当の島田幸子様から「ESD(持続可能な開発のための教育)と関東EPO事業紹介」と題してご講演をいただきました。



大熊会長 牧環境政策課長 片倉会計



島田講師

◇ 平成28年度通常総会 来賓あいさつ

埼玉県環境部環境政策課長 牧 千瑞 様

埼玉県環境部環境政策課の牧です。本日は、埼玉環境カウンセラー協会の平成28年度通常総会にお招きをいただきありがとうございます。

皆様が大先輩の前に立ち気が引き締まる思いです。宍戸環境部長からもくれぐれもよろしくお伝えするようにとことづかっております。

大熊会長をはじめ皆様方におかれましては1998年の協会設立以来、専門的な知識や豊富な経験を活かし、様々な環境保全活動を支援されて来られました。

日頃県政の推進についても多くのバックアップをいただいています。深く感謝申し上げます。

さて、平成28年度の県環境部の予算総額は113億7,105万3千円、一般会計構成比では0.6%となっています。

少ないように感じますが環境部では先進的な事業から人対人のつながりを大事に県政に生かすきめ細やかな事業まで進めているのが特徴です。

新しい事業では水素エネルギーを使った燃料電池自動車の普及や水素ステーションの整備を進めています。トヨタのミライ、ホンダのクラリティを走る広告塔として公用車にも使っています。

また、ラグビーワールドカップ2019の試合会場である熊谷スポーツ文化公園では緑化や遮熱舗装などでヒートアイランド対策の見本市として外国からのお客様をおもてなししようという取組も進めています。

その中でやはり大気、水、土壌を守り、生物多様性を維持する、ごみ対策という環境行政の根幹部分についてはまちがいのないようにしっかりと進めてまいりたいと考えています。

さて、今週小学校の環境学習の現場を見てまわりました。

プール開きの前のたまり水でトンボのヤゴとりをしました。私も初めてヤゴを触りました。

自然や命の教育でした。この1回の体験が将来への環境保全の心をつくるステップになる。子供たちだけでなく教師にとってもいい。先生の転勤した先でこの取組が伝わっていく、そんな話を校長先生がおっしゃっていました。

環境問題はさまざまですがその根っこは人と人との信頼関係や命を思う心であり、それが環境を守りたいと思う意志につながるのではないかと感じています。

昨年12月、フランス・パリで行われたCOP21、気候変動枠組条約第21回締約国会議で歴史的な合意とも称される「パリ協定」が採択され、環境カウンセラー全国連合会ではその場に派遣されました。

また、子ども一人ひとりに向かい合う環境教育も日々進められています。分野においても対象においても非常に幅広い活動をされています。

皆様おひとりおひとりの活動が県民ひとりひとりの思いを国際的な課題へとつなぐ、そのようなムーブメントになっていくのではないかと考えています。

どうぞ今後とも埼玉の環境のスペシャリストとして、さまざまな場面で橋渡しをしてください。

最後に、貴協会の一層の御発展と御参会の皆様への御健勝を祈念申し上げまして、私のごあいさつとさせていただきます。

◇ くまがやエコライフフェア2016に参加

角江 絃一

5月28日（土）、29日（日）の二日に亘り、熊谷市内において開催されました。

市民に環境意識を高めてもらおうとの狙いの下に開催されており、協会は、県北会員の協力を得て、2006年から毎年参加しております。

もともと協会は、「環境保全活動を推進する」との目的を持って活動しており、市民への環境意識啓発はもとより、具体的に、会員個々の活動に繋がることも期待されます。

今回、地球温暖化防止、いきもの、化学物質の使い方をテーマとしたパネル、加えて、SECAの活動内容をPRしたパネルを展示しました。パネルは、かつて借り物だったものが、来場者に理解しやすく編集した内容で、自作するに及んでおります。そして、エネルギーの基本を説く、体験型の学習会を催しました。これは、小学生を対象としたものですが、客数も多く、親の関心も得、新たな気づきをも促しております。

しかし！・・・いろいろ反省すべき点もあります。

市としては、来場者の減少傾向。また、SECAにとっても、他団体の催しに押されてか当協会コーナーに立ち寄る人数が減ってきております。目的は、環境意識啓発と、SECAの存在をアピールし、これからの活動を呼び込むことにあります。参加すればいいというものではありません。イベントはお祭りであっていいのですが、その場を通して焼きそば屋が稼ぐことができるように、SECAも目的を稼がねばなりません。

開催に携わったメンバーで、次がより効果的なものとなるべく反省会を持ちました。いくつか主なものを採りあげますと・・・

○参加者に、良かった、楽しかった、そして驚きを与えること。

○講習会などの併催も考える。

○パネルは、文字より絵、写真を採用、解りやすく、「気づき」を誘導するものへ

○他団体との協働も考える。

今後の参考にしたいと思います。

市に申し上げたほうがいい項目もいくつかあり、ご担当と面談、提案しました。

市としても課題を認識されているようで、真摯に対応される様子が伺えました。新たな協働のきっかけになればと思っております。



◇ 環境研修 開催結果の概要

2016年2月20日(土)貸し切りバスによるこれ委の環境研修を実施しました。あいにくの雨模様の中、大宮駅ソニックシティ脇と北本駅西口から参加者10名を乗せたバスは一路、北本市近くに広がる北本自然観察公園へ。公園到着後、園内にある埼玉自然学習センターで解説員の方から、施設の概要や観察できる動植物について説明を受け、いよいよ、フィールドでの野鳥観察です。冬は落葉のため、鳥が観察しやすいとのこと。望遠鏡で鳥を捉えるには、まず肉眼で方向を定めたら、顔を動かさずにすばやく望遠鏡に目に当てるといふ基本動作を学んだこともあり、多くの野鳥をレンズ越しに見ることができました。

昼は桶川市にある「べに花ふるさと館」へ。名物のボリューム満点の「あつもり肉ねぎ汁うどん」をいただき、讃岐(香川県)に次ぐ、うどん県・埼玉を実感しました。

午後の見学先は、上尾市内にある(株)サイサンが運営するサイサン・ガスワンパーク上尾です。ここは、東洋一のプロパンガスタンクを有するLPガスの充てん施設です。無人化され、家庭用や事業者用のガスボンベの充てんの様子を見学するとともに、安全管理の実際説明いただきました。

今回の現地研修会は比較的近場でしたが、自然環境とエネルギー問題の両方を考える良い機会となりました。



埼玉環境カウンセラー協会 役員名簿(平成27-28年度)

役職名	氏名	住所	摘要
理事	大熊 幸雄	さいたま市浦和区	会長
理事	中村 章	富士見市	副会長、事務局長
理事	星野 弘志	さいたま市南区	副会長
理事	堀中 新一	蓮田市	
理事	秋元 智子	さいたま市大宮区	
理事	片倉 寛	久喜市	会計
理事	奥田 真司	春日部市	
理事	金子 玲司	坂戸市	
理事	角江 紘一	深谷市	
監事	宮崎 誠	川越市	
監事	内藤 定芳	秩父市	

◇「家にある化学物質の使い方」第6号 消臭剤 ～芳香消臭剤を中心に～

星野 弘志

化学物質検討委員会では「家にある化学物質の使い方シリーズ」を作成しています。これまで第1号「漂白剤」から第5号「浴室で使う化学製品」までを発行しました。

今回の第6号は「消臭剤 ～芳香消臭剤を中心に～」です。最近、テレビのCMも多く、使用量も増えている芳香消臭剤に焦点をあて、消臭の仕組みや取扱い上の注意などと共に、特にイメージが先行し、そうした製品へ過度に依存することの問題点なども紹介しています。

第1号から第6号までを含めて、皆様のご意見を反映して、さらに良いものにしていきたいと思います。ご意見やご感想をぜひお寄せください。

<目次>

Q1 「におい」とはどのようなものですか？

☆コラム① 臭いの元の物質とはどんなもの？

Q2 臭いを消すにはどうしたらいいのですか？

Q3 消臭剤とはどんなものですか？

☆コラム② 消臭除菌スプレーに過度に頼っていませんか？

Q4 消臭剤ではどんな事故がありますか？

Q5 法律では何が定められているのですか？

Q6 購入時の注意点はありますか？

Q7 使い方の注意点はありますか？

Q8 保管する時の注意点はありますか？

Q9 いらなくなったらどうしたらいいのですか？

参考資料：1 自分の家の中のチェックシート、
2 疑問点の調べ方、3 検索サイト



Q1に対するA1を抜粋してご紹介します。

私たちは、様々な「におい」に囲まれて生活しています。「におい」の元はある物質の分子です。その分子が空気と共に鼻に吸い込まれ、鼻の粘膜を通して臭細胞を刺激します。その信号は脳に届き、脳が「におい」を感じ、それが快適な「匂い」なのか、不快な「臭い」なのかを判断するのです。

「におい」の感じ方は、次の4要素によって決まってくると言われています。

①質：におい物質の種類、②強度：においの強さ（におい物質の量）

③広範性：どれ程の濃さでにおうか（においの感覚量）、④許容性：主観的なにおいの好み（好き嫌い）

質については、におい物質は約40万種類もあり、私たちの鼻はそれらの多くを嗅ぎ分けられると言われています。ただし、臭覚能力は人によってかなり異なります。また、臭覚には「疲労性（順応）」といって、同じにおいをしばらく嗅いでいるとそのにおいを感じなく性質があります。

広範性（においの感覚量）については、強度（におい物質の量）の対数に比例するという法則があります。つまり、においの感じ方を半分にするためには、におい物質を97%も除去しなければならないわけです。

許容性（好き嫌い）は、人によって大きな差があります。自分が好きなにおいだからといって、必ずしも他の人も好きだと決めつけられないこと、それがにおいのマナーの最も大切な点です。このように、「におい」はその人固有の感覚による部分が大きいと言えるでしょう。

日本人は「におい」、特に「臭い」に敏感であると言われています。加えて、近年、鉄筋コンクリート製の気密性の高い住宅が増えたこともあり、体臭、衣類の臭い、部屋の臭いなど「臭い」を除去、緩和するための製品が多く使われるようになって来ました。

◇ 第16回さいたま市環境フォーラムの開催について

- ・埼玉環境カウンセラー協会は、第16回さいたま市環境フォーラムに参画します。
- ・10月7日（金）、8日（土）の午前、午後で当番をお願いしたいので可能な方はメールでお知らせください。
- ・問合せ先 yukiokuma@jcom.home.ne.jp

1 開催趣旨

環境共生都市の実現に向けた本市の環境分野の総合計画である「さいたま市環境基本計画」では、市民、事業者、学校、市などすべての主体がパートナーシップのもと、環境の保全と創造に取り組んでいくため、めざすべきさいたま市の「望ましい環境像」を「自然と共生し持続可能な環境を未来ある子どものために伝える都市（まち）」と設定しています。その実現に向けては、すべての主体が環境問題を自らの問題ととらえ、関心を持ち、気づき、できることから行動していくことが大切であり、それぞれが役割を果たすとともに相互に連携し一体となって取組を進めることが重要であるとしています。

このことから、本フォーラムは、市民、事業者、学校、市などがそれぞれの立場で行っている環境保全活動についての発表を通じ、お互いの情報を交換し交流する場、また、多くの方々に環境に関心を持っていただくための環境教育・学習の場を創出し、自主的な環境保全への取組を促進するために開催するものです。

2 事業テーマ

「自然と共生し持続可能な環境を未来ある子どものために伝える都市(まち)都市」

3 主催・後援

主催：さいたま市環境フォーラム実行委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会
後援（予定）：環境省関東地方環境事務所、さいたま商工会議所、さいたま市環境保全連絡協議会

4 開催日時・会場

日時：平成28年10月7日（金）・8日（土） 午前10時 ～ 午後4時
会場：さいたま新都心駅東西自由通路

5 内 容

環境保全活動に関する展示など

◇ ECUの活動情報

- ・平成28年度通常総会；平成28年6月24日（金） エッサン神田ホール
- ・ECU設立15周年記念大会 平成28年9月10日（土） 神田
- ・第7回環境カウンセラー全国交流会 平成28年11月19、20日 福岡県
- ・関東地区環境カウンセラー協研修 平成28年11月
ホームページ <http://www.minnanoecu.com/>

◇ 人が創った自然は定期的に資金を投入する必要がある

SECA 会員 内藤定芳

7月2日(土)に、秩父ミュージックパークでは「昔懐かしい野遊びとほたる鑑賞の夕べ」というタイトルで、インストラクター事業を開催しました。参加者は、主催者発表で630名ほど。天気さえ良ければ、最近では埼玉県内外から多くの方が参加してくれます。秩父ミュージックパーク公園インストラクター主催の事業は、今年度は15回。「早春の生き物観察会」から始まり、近くは、7月30日(土)の「夜の昆虫探検隊」、8月6日(土)は、「プラネタリウムを作って星を学ぼう」「夏の星座観察会」、8月7日(日)は、「子ども昆虫探検隊」と続きます。私の主担当は春、夏、秋の星座観察会と、プラネタリウム作り、手作り凧揚げ教室などですが、インストラクターの代表幹事でもあるので毎回極力参加し、少なくとも挨拶だけはすることになります。

ところで、7月2日の夜は、上記のほたる鑑賞の夕べがパルテノン集合で、抽選会などのイベントの後西側の「駒沢」に向かったのですが、私は東斜面にある棚田と、トンボ池に行ってみることにしました。棚田には、少数ですがカワニナが棲息していて、蛭がいることは、昔ここで水田を作っていた方々からも聞いていました。何より、トンボ池では数年前から「ヤナギモ」が群棲し始め、モノアラガイが観察され始めました。秩父市内とはいえ、日が暮れると鹿と出会うこともあり、イノシシも間違いなく付近にいます。腰に漁師用のナタとノコを紐でつけて歩きます。何の照明もない山道を400メートル一人で歩くのは、結構勇気がいります。

いました！いました！3カ所の池で、合計40匹ほどでしょうか。点滅速度が速いのでハイケボタルでしょう。この後、所長達を案内してもう一度高度差100m弱をアップダウンしたのですが、殆どだれも見ることがなかった蛭、それも、ほぼ自然に棲息を続けていた蛭を見て、一同大いに感動しました。

昨年度、SECAで北本の自然観察園を訪問しました。当日も思ったことですが、20数年前に出来た県の施設は、殆ど補修の手が入られず、池の杭は腐り、一番大きなビオトープ池は水がたまりません。時折ミュージックパークに出かけては、スコップで水漏れをふさいでいます。特に水のない冬場は殆ど水がたまず、1月末には卵を産む「ヤマアカガエル」のための水の確保はかなり困難です。数年前から管理が県土整備事務所に移管されたとか。どうやって県の上層部まで逼迫した声を届ければ良いか、思案中です。

※ハイケボタルの写真を戴きましたが、誌面の都合で割愛します。

◇ SECA情報

第33回環境保全講習会の開催を予定しております！

テーマ；「日本のエネルギーの現状と将来」

講師；日本エネルギー経済研究所 工藤 拓毅氏(ひろき) (予定で変更もあります)

日程；10月29日(土) 13時30分～16時

会場；さいたま共済会館 505

◇ 編集後記

中村 章

例年より協会便りの発行が遅れましたが、皆様の活動状況を出来るだけ今後も掲載して参りたいと思います。次号は年明けになりますが皆様の投稿をお待ちしております。